

《 特 徴 》

1. 木材小片を主原料にした堆肥で、堆肥自体の効用性の向上を図るためにおから、鶏糞、ビール酵母、米ぬか、硫酸加里、有機微生物の肥料原料を用い、発酵処理した堆肥です。
2. おからは豆腐かす肥料として、なたね油かすや大豆かすよりはやや肥効は劣りますが肥料効果の持続性は大きいです。
3. ビール酵母には、ビタミン9種類とアミノ酸18種類が含有されています。また家畜糞の中で一番優れた鶏糞を用いています。
4. 堆肥化処理中の高温により、有害な生物や病原菌、雑草の種子等は完全に死滅しています。

《 効 果 》

1. バクテリア効果により、土壌は団粒構造となり、通気性、透水性、保水性、保肥性が改善されます。
2. 通気性、透水性の改善により、根の呼吸作用が活発化し、根毛の新陳代謝を促し、光合成が増長され、耐病性の強い果樹木となります。
3. 腐植質土壌となり、地力が向上します。
4. 主原料に使用しているウッドチップには、リグニンが含まれているので、バーク堆肥と異なり、持続効果を発揮します。
5. 土壌が団粒化し、pHが弱酸性ないし中性となり、化学肥料の吸収率が高まり、化成肥料等の施肥量を減じることができます。

《 基 本 材 料 》

ウッドチップ、おから、鶏糞、ビール酵母、米ぬか、硫酸加里、有機微生物

堆肥施肥による土壌の改善効果について

1. 堆肥を施肥すると、有機物が分解してできるフミン質と粘土粒子をカルシウムを通して結合し、土壌は団粒構造となる。そのため透水性、通気性、保水性に優れ、また保肥性が増し、特にリン酸、カリの吸収率が大幅に増大する。
2. 堆肥を施肥すると、肥料分が逃げにくくなるのは、土壌の中の腐植が蓄積し土壌から肥料養分の吸収をしやすくしている。また堆肥中のバクテリア効果で土壌が団粒構造となって、根張りが良くなり化成肥料等の吸収率を向上させる。
3. 堆肥を施肥すると、土壌の三相分布の容積割合を適度に調整する。土壌は得てして踏圧並びに雨水等で圧縮され、土壌粒子(固相)が増大し、土壌水(液相)と土壌空気(気相)が減少する。したがって、畑地では毎年耕運が必要となり、耕運できない果樹木の根本周辺は、バクテリア堆肥によって土壌を団粒化させ、耕運と同等の効果を出し、三相分布を改善する。



有機パワー（木片を主原料とした有機肥料）



有機パワー 30ℓ袋



有機パワー 効果テスト
左側 培養土のみ
右側 培養土+有機パワー